



ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
 ～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
 【今月の一冊】 日本人の勝算
 デービッド・アトキンソン著 東洋経済新報社
 ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2020年1月1日 Vol. 207
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション
 ライフコンサルタント 渡邊敏徳
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

パラダイムシフト

人生を楽に生きるコツ

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

今年は東京オリンピックという大きなイベントが開催されますが、どんな1年になるのでしょうか？世界的なコンサルティング企業であるマッキンゼーの分析によると、今までの50年間世界経済の成長率は3.6%でしたが、これからの50年間では経済成長率が2.1%まで減少すると予想しています。

その理由を、経済成長の『人口増加要因』と『生産性向上要因』の2つに分けて考えています。今までの成長率3.6%は、『人口増加要因』『生産性向上要因』がそれぞれ1.8%ずつでした。しかし、これからの50年間は『人口増加要因』が0.3%まで低下するといわれます。今までどおり『生産性向上要因』が1.8%を維持すると世界の経済成長率は2.1%まで低下することになります。そこで従来50%だった成長率に占める『生産性向上要因』を86% (1.8%÷2.1%) まで上げなければいけません。

多くの先進国は、生産性が向上しなくても一定の経済成長が見込めます。それは人口が増えるからです。しかし日本においては人口増加要因がマイナスなので、生産性をかなり向上させないと経済が成長しない構造になります。学校、美容室、食料品、車、住宅など、人間の数に依存するモノとサービスの需要が大きく減るからです。

今日本には、大きな“パラダイムシフト”が訪れています。常識と認識されていた様々な事柄を大きく変えていくことが重要になります。人類史上いまだかつてない急激なスピードと規模で、「人口減少」と「高齢化」が進みます。人口が右肩上がりが増えるパラダイムが、右肩下がりに減るといふパラダイムにシフトします。これまで当たり前だと認識されてきたことが、すべて当たり前ではなくなります。日本は大きなターニングポイントに立たされています。小手先の改革では乗り切れない時代に突入します。

欧米で、幸せに生きる為に「自分にはいけないこと」をまとめたサイトが大変な話題を呼んでいます。これはマルクとエンジェルという男女のライターが書いている「人生を楽に生きるコツ」についてのブログから厳選されたもので、添付された美しい写真の力もあって、多くの人から絶賛を受けているようです。海外のサイトでは15のこのうち、特に10番が一番大事だと指摘していますが、みなさんはどう思いますか？

- 1、「間違っただ」人と時間を過ごさない
- 2、困難から逃げない
- 3、自分に嘘をつかない
- 4、自分自身の願望を後回しにしない
- 5、自分ではない誰かになろうとしない
- 6、過去にしがみつからない
- 7、失敗を恐れない
- 8、失敗した自分を責めない
- 9、幸せを買おうとしない
- 10、幸せを求めて他人に依存しない
- 11、立ち止まらない
- 12、まだ無理だ、と思わない
- 13、間違っただ付き合いはしない
- 14、以前の恋愛が悪かったからといって新しい恋愛を拒まない
- 15、他人と競わない

幸せに生きる為に上記の15を参考にしてみてください。



【座右の銘にしたい名言】



やったことは、例え失敗しても、20年後には、笑い話にできる。
 しかし、やらなかったことは、20年後には、後悔するだけだ。

(マーク・トウェイン/米国の作家、小説家)

